

下記スライド例にてCOI開示

様式1-A 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がない時

<p>日本透析医学会 COI開示 筆頭発表者名:</p>
<p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。</p>

様式1-B 学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある時

<p>日本透析医学会 COI開示 筆頭発表者名:</p>
<p>演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、</p> <ol style="list-style-type: none">① 顧問:② 株保有・利益:③ 特許使用料:④ 講演料: 例:(株)〇〇〇 ①(2013年)⑤ 原稿料:⑥ 受託研究・共同研究:⑦ 奨学寄附金: 例:×××社 ②(2014年)⑧ 寄附講座所属:⑨ 贈答品などの報酬:

学術講演会にて、ポスター掲示の最後にCOI状態を開示する。

様式1-C 申告すべきCOI状態を開示方法

筆頭発表者：演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

或いは、

筆頭発表者のCOI開示

- ① 顧問： 例 技術顧問 ①(2012-2014年)
- ② 株保有・利益：
- ③ 特許使用料：
- ④ 講演料：
- ⑤ 原稿料：
- ⑥ 受託研究・共同研究： 例 受託研究①(2012, 2013年)
- ⑦ 奨学寄附金：
- ⑧ 寄附講座所属：
- ⑨ 贈答品などの報酬：